

## 令和8年度「ふくしまプライド。」ポータルサイトを活用した販売促進事業 公募型プロポーザル募集要領等に関する回答書

令和8年3月5日  
福島県農産物流通課長

令和8年度「ふくしまプライド。」ポータルサイトを活用した販売促進事業公募型プロポーザル募集要領等に関する質問への回答は以下のとおりです。

No.	質問	回答
1	業務委託仕様書3(2) モール型への拡張性:仕様書にある「商品カタログページ(EC販売ナビ)」について、単なる紹介(各社ECへの誘導)に留まらず、本事業内で「サイト内決済が可能なモール型EC」として構築・運営する提案は可能でしょうか。	業務委託仕様書3(2)に基づく提案は必須です。そのうえで、同仕様書3(4)ウとして提案いただくことは否定しません。
2	業務委託仕様書3(2)ア(イ) EC販売ナビページへの掲載事業者数を拡大する施策について、掲載事業者募集の主体は「県」と「受託者」のどちらを想定されていますでしょうか。	掲載事業者募集の主体は県となりますが、実際の募集を行う業務は受託者が実施します。
3	業務委託仕様書3(2)イ 大型イベント連動施策について、貴県が求める最低限必要な実施レベルがあればご教示ください。 また、県政150周年、とは具体的にどのような企画になりますでしょうか。	福島県への関心が高まる大型イベントを捉えてECサイト出店事業者の販売促進に資する企画を提案してください。 福島県は令和8年8月21日に県政150周年を迎えることから、150周年を盛り上げるため官民一体となって令和8年から様々な記念事業を展開しています。参考に福島県政150周年記念事業特設ウェブサイトをご覧ください。 <a href="https://fukushima150th.jp/">https://fukushima150th.jp/</a>
4	業務委託仕様書3(2)ウ 本事業における「オフライン施策」の優先度についてどの程度でしょうか。 また、オンライン施策とオフライン施策の両方を実施することは必須要件でしょうか、	新たに構築するEC販売ナビページ(仮称)を広く消費者に周知するためにオフラインでのプロモーションも重要と考えています。オンライン・オフライン両方を実施する提案としてください。
5	「広告費」と「制作費」の配分比率について、貴県として想定がございましたらご教示ください。	予算額が実施内容に対して費用対効果の観点から妥当であるか、提案金額も採点基準の1つとしています。